

庶民大増税の中止を求める請願

衆議院議長 殿

参議院議長 殿

高齢者は、05年に所得税、06年6月に住民税が増税となり、その通知書を見て「住民税が10倍に」「暮らしが成り立たない」などの問い合わせや抗議が市町村に殺到しています。これは、04～05年度の税制「改正」で年金課税を強化したためです。

06年、定率減税半減によって所得税・住民税増税が実施されました。さらに、政府は、定率減税廃止につづき、各種控除の縮小・廃止など果てしない庶民増税をすすめようとしています。「骨太の方針」では、「歳出・歳入一体改革」といって、社会保障など暮らしの予算を削り、国民を兵糧攻めにしたあげく、消費税など庶民増税を押しつける計画です。

これらが実施されると、年収500万円の4人家族では、55万円の大増税となります。勤労者の給与が減少しており、この大増税がされたら暮らしも営業も景気もさらに悪くなってしまいます。増税は、絶対に許されません。

「社会保障」や「財政再建」の財源は、ムダな大型開発や軍事費を見直して税金の使い方を変え、さらに空前の利益をあげている大企業や大資産家に応分の負担を求めればつくることができます。

私たちは、次のことを強く要求します。

【請 願 事 項】

- 1、いま実施されている高齢者への大増税は、ただちに中止し、見直すこと。
- 2、定率減税廃止や所得税・住民税の各種控除の縮小・廃止をやめること。
- 3、消費税の増税をやめること。

氏 名	住 所

取扱い団体 []